

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない

評価項目	A	B	C	D	肯定比率	A	B	C	D	肯定比率
1 学校教育目標は学校の現状に適したものとなっている	16人	4人	0人	0人	100%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2 学校教育目標を意識した学年・学級・教科経営を行っている。	12人	8人	0人	0人	100%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3 教育課程の編成がなされ、授業時数が確保されている。	14人	5人	1人	0人	95%	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	95.0%
4 年間行事は、全体の運営を考慮して計画されている。	9人	10人	1人	0人	95%	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	95.0%
5 校務分掌の編成は機能的であり、分掌の内容は明確になっている。	6人	13人	1人	0人	95%	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	95.0%
6 校務分掌の役割にやりがいをもって職務を遂行している。	15人	5人	0人	0人	100%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
7 学年・学級経営目標を意識して指導している。	15人	5人	0人	0人	100%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8 学年職員の情報共有がなされ、共通理解が図られている。	13人	6人	1人	0人	95%	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	95.0%
9 学年・学級の生徒の理解につとめ、よく話しあっている。	14人	5人	1人	0人	95%	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	95.0%
10 言語活動や表現活動を重点においた学習活動が展開されている。	11人	9人	0人	0人	100%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11 教科の努力目標や仮説に沿った取組ができています。	10人	10人	0人	0人	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
12 職員研修が計画的・組織的に運営されている。	12人	6人	1人	1人	90%	60.0%	30.0%	5.0%	5.0%	90.0%
13 生徒指導の重点「自己実現を支援する教育相談活動」を実践している。	9人	10人	1人	0人	95%	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	95.0%
14 問題に対し、組織的に対応し、情報の共有を図ることができている。	15人	5人	0人	0人	100%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15 自己肯定感を高める指導を意識している。	13人	7人	0人	0人	100%	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	100.0%
16 生徒の安全について配慮して指導している。	18人	2人	0人	0人	100%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
17 安全点検は、点検箇所をきちんと確認して行っている。	16人	4人	0人	0人	100%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
18 病気やけがについての対応を適切に処理・指導している。	19人	1人	0人	0人	100%	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
19 規則正しい生活を意識し、行動できるように支援・指導している。	15人	5人	0人	0人	100%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20 特別支援教育について理解し、組織的に生徒の支援・指導にあたっている。	8人	9人	3人	0人	85%	40.0%	45.0%	15.0%	0.0%	85.0%
21 特別な支援を必要とする生徒の持てる力を高めるための指導・支援に努めている。	10人	9人	1人	0人	95%	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	95.0%
22 給食時の服装や配膳・片付けについて、適切に指導している。	16人	3人	1人	0人	95%	80.0%	15.0%	5.0%	0.0%	95.0%
23 食育について適切に指導している。	7人	12人	1人	0人	95%	35.0%	60.0%	5.0%	0.0%	95.0%
24 清掃の人数配分や清掃場所は適切である。	8人	11人	1人	0人	95%	40.0%	55.0%	5.0%	0.0%	95.0%
25 黙働を意識して清掃の指導をしている。	8人	10人	2人	0人	90%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	90.0%
26 PTA活動に積極的に参加している。	7人	10人	3人	0人	85%	35.0%	50.0%	15.0%	0.0%	85.0%
27 家庭との連絡を密にし、情報の提供を適切に行っている。	16人	4人	0人	0人	100%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%

久住中学校学校評価アンケート比較分析

1. 全体的な傾向
 両年度ともに、多くの項目で肯定率(A+B)が90%~100%となっており、職員の学校運営に対する評価は概ね高い水準を維持しています。特に「生徒の安全」や「対応」に関する項目は引き続き高評価です。

2. 改善が見られた項目(肯定率の上昇)
 R6年度に課題とされていた項目において、数値の改善が見られます。

PTA活動への参加(項目26)
 R6: 肯定率 71.4% (A:42.9%, B:28.6%)
 R7: 肯定率 95.0% (A:35.0%, B:50.0%)
 分析: 昨年度最も肯定率が低かった項目ですが、10ポイント以上上昇しました。ただし、「C:あまり思わない」が依然として15.0%存在しており、継続的な課題でもあります。

黙働清掃の指導(項目25)
 R6: 「A:そう思う」が 28.6% と低く、全体肯定率は92.9%でした。
 R7: 「A:そう思う」が 40.0% に上昇し、「C:あまり思わない」は10.0%となりました。
 分析: 「A」の比率が改善しており、指導の意識が向上していることがうかがえます。

3. 懸念点・低下が見られた項目
 R6年度に100%の評価だった項目の一部で、否定的な回答が出現しています。
 特別支援教育の理解と組織的対応(項目20)
 R6: 肯定率 100.0% (A:64.3%, B:35.7%)
 R7: 肯定率 85.0% (A:45.0%, B:40.0%) / 否定率(C) 15.0%
 分析: 最も顕著な低下が見られる項目です。昨年度は全員が肯定的でしたが、R7年度は15% (約3名) が「あまり思わない」と回答しており、組織的な支援体制に課題を感じている職員が増えた可能性があります。

食育の指導(項目23)
 R6: 「A:そう思う」 57.1%
 R7: 「A:そう思う」 35.0%
 分析: 肯定率合計(A+B)はR6の85.7%からR7の95.0%へ上昇していますが、「強くそう思う(A)」の割合が大幅に減少(57.1%→35.0%)し、「やや思う(B)」にシフトしています。指導の質や自信という面では一歩後退した可能性があります。

4. 安定して高評価の項目
 以下の項目は、年度をまたいで非常に高い評価を維持しています。
 病気やけがへの対応(項目18): R6で「A」が100%、R7でも肯定率100% (A:95%, B:5%) と、極めて高い信頼性を維持しています。
 家庭との連絡(項目27): R6で肯定率92.9%、R7では肯定率100%へとさらに向上しました。

まとめ
 R7年度は、R6年度の課題であった「PTA活動」などで数値の改善が見られましたが、「特別支援教育(項目20)」に関しては肯定率が100%から85%へと低下しており、新たな組織的課題となっている可能性があります。また、全体的に「A:そう思う」から「B:やや思う」へのシフトが見られる項目(食育など)もあり、取り組みの「質」の維持・向上に向けた再確認が必要かもしれません。